

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
サンタアニタトロフィー	2019/7/30	SIII	大井	1600m	スローペース	良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ロイヤルパンプ	牡7	55	今野	アグネスデジタル	ミスプロ系	タバスコキャット	ノーザン系	C	C	A	A	B	B	▲	
	2	ハッピープリント	牡8	55	御神本	アツミラーレ	サンデー系	Dayjur	ノーザン系	C	A	B	B	B	B	△2	
2	3	カンムル	牡5	55	左海	サマーバード	ミスプロ系	Star de Naskra	ナスルーラ系	D	B	D	D	D	D		
	4	クリスタルシルバー	牡4	57	的場文	サムライハート	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	B	C	B	A	B	B	◎	
3	5	ゴードー	牡11	55	安藤洋	プレシャスカフェ	ノーザン系	コノミテイオー	ザテトラーク系	D	D	D	D	D	D		
	6	サブノジュニア	牡5	55	西	サウスヴィグラス	ミスプロ系	カコイシーズ	アリダー系	C	C	C	C	C	C		
4	7	サブノクロヒョウ	牡6	55	藤本	ローズズインメイ	ヘイロー系	カコイシーズ	アリダー系	D	C	C	C	C	C		
	8	アルタイル	牡7	55	森	カネヒキリ	サンデー系	Grand Slam	ミスプロ系	C	A	B	B	B	B	△1	
5	9	リアライズリンクス	牡9	55	川島正	ダイタクリーヴァ	サンデー系	マイネルラブ	ミスプロ系	C	D	C	B	C	C		
	10	トロヴァオ	牡6	55	吉原	カネヒキリ	サンデー系	Cox's Ridge	ターントウ系	C	A	C	C	B	C	×1	
6	11	バルダッサレ	牡6	55	笹川	アンライバルド	サンデー系	フジキセキ	サンデー系	D	B	C	D	C	C		
	12	ノンコノユメ	セ7	58.5	真島	トワイニング	ミスプロ系	アグネスタキオン	サンデー系	A	B	C	C	B	B	○	
7	13	リッカルド	セ8	57	矢野	フサイチリシャール	ノーザン系	オペラハウス	ノーザン系	B	B	B	B	B	B		
	14	ムサシキングオー	牡10	55	和田	キングヘイロー	ノーザン系	ラストタイクーン	ノーザン系	D	C	C	C	C	C		
8	15	コンドルダンス	牡7	55	町田	アドマイヤオーラ	サンデー系	キングヘイロー	ノーザン系	D	C	B	D	C	C		
	16	モンスターキング	セ6	53	藤田凌	アサクサキングス	ノーザン系	デヒア	ノーザン系	D	C	A	B	C	B	△3	

隊列図	見解	ラップタイム
ロイヤ クリス モンズ アルタ リッカ ノンコ ムサシ バルダ コンド	<p>1番人気は転入初戦の帝王賞で3着に好走したノンコノユメになりそう。しかし、気になるのは展開。メンバーを見渡す限り、逃げ、先行勢が明らかに手薄で、明確に逃げたいのは最内枠を引いたロイヤルパンプのみ。クリスタルシルバー、アルタイル、トロヴァオ、リッカルドらは折り合い重視のタイプで、無理して位置を取りに行くことはないだろう。淡々としたペースで流れて直線へ。いくら末脚強烈なノンコノユメでも差し遅れる心配はある。ここは展開、位置取り重視で考えていきたい。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はクリスタルシルバーに勝利のチャンスが巡ってきた。前走京成盃グランドマイラーズは2番人気8着と案外だったが、初コースだった影響か道中で物見をしたり、ソラを使って集中力を欠いていた様子。直線では大外に持ち出されてからこの馬なりに伸びており、決して調子が落ちているわけではないだろう。(以下省略)</p>	<p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>
スローペース		

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ロイヤルパンプ	▲	外からハナを主張してくる馬が見当たらないので、スタート五分なら自分の競馬に持ち込める可能性が高い。重賞で相手は一段と強くなるが、展開を味方につけての粘り込みは十分に考えられる。		
	2	ハッピープリント	△2	2走前の隅田川オープンだけ走れば、馬券圏内のチャンスがありそう。この枠なら逃げるロイヤルパンプの後ろか、もう一列後ろを確保できるはずで、前残りの競馬になれば、粘り込みがあってもいい。		
2	3	カムル		スタミナ型のサマーバード産駒で、大井1600mは明らかに適性外。相手も強い。		
	4	クリスタルシルバー	◎	これまでのレースぶりから馬群の中に突っ込んだ方が良く、特にイン突きした時に高いパフォーマンスを見せる馬。今回は内目の2枠4番。的場文男騎手ならスタートからラチ扱いを取りにいわずで、本馬が最も得意とするパターンに持ち込めそう。		
3	5	ゴードー		条件に関係なく目の前のレースに出走しているだけの現状。参加するだけだろう。		
	6	サブノジュニア		重賞でも十分に通用するだけの能力を持っているが、今回は昨年11月の黄葉賞以来の実戦。ベスト距離は1200mでもあり、様子見が妥当では。		
4	7	サブノクロヒョウ		今年に入ってからの3戦が物足りず、本調子を欠いている。マイルのスピード勝負も向いていない。		
	8	アルタイル	△1	大井に転入後、【2.2.0.1】と再び輝きを取り戻している。前走ムーンストーン賞ではロイヤルパンプを差し切っており、ロイヤルパンプを評価するなら本馬も上位評価すべきだろう。鞍上が森騎手なら展開等を考えて位置を取りに行くのではないかな。		
5	9	リアライズリンクス		前走湘南ひらつかオープンでは勝ち馬ロイヤルパンプに7馬身差をつけられての2着。2走前の京成盃グランドマイルズ5着の結果を見ても、重賞で上位争いするのは難しいかな。		
	10	トロヴァオ	×1	これまで南関東では1~4枠【3.3.2.3】、5~8枠【0.0.0.8】と両極端な成績を残している馬。今回は5枠10番。ギリギリアウトではあるが、とにかく前に壁を作って折り合えるかどうかなので、鞍上の誘導ひとつで怖さはある。		
6	11	バルダッサレ		近走はオープン特別でも掲示板が精いっぱい。現状、重賞では荷が重いのでは。追い込み一辺倒の脚質なので、展開にも泣かされそう。		
	12	ノンコノユメ	○	転入初戦の帝王賞ではオメガパフューム、チュウワウィザードに次ぐ3着と好走。これで大井はG1(JpnI)のみの出走で【1.1.1.1】。同コースとはよほど水が合うのだろう。転入初戦の真島騎手が騎乗した帝王賞ではそれなりに位置を取っており、勝負どころでもスムーズな動きを見せていた。		
7	13	リッカルド		昨秋以降の走りが明らかこいまひとつ。特に今年の2戦は全くいいところがなく、相手関係よりも精神的な問題が大きそう。気持ちの問題だとすれば、相手弱化でも巻き返せる保証はない。人気を考えても買いたくない（おそらく3、4番人気には支持されるだろう）。		
	14	ムサシキングオー		10歳で衰えが隠せない。前走ムーンストーン賞では、アルタイル、ロイヤルパンプに完敗の5着。重賞では荷が重いだろう。		
8	15	コンドルダンス		2年前のサンタアニタトロフィーで2着に好走したが、当時の勝ち馬がゴードーでは威張れない。年齢を重ねて下降線に入っており、今年の相手関係では苦戦必至だろう。展開も向かない可能性大。		
	16	モンスターキング	△3	大井1600mで2戦2勝。相手は一気に強くなるが、相手なりに走る面があり、同コースへの適性も高いので、一枚押さえておいていいかな。この枠なら逆に割り切って出していけそう。		